

富津市学校給食運営委員会議会議録

1	会議の名称	平成 26 年度第 1 回富津市学校給食運営委員会議
2	開催日時	平成 26 年 7 月 2 日（水） 午後 1 時 45 分～ 3 時 15 分
3	開催場所	富津市役所 2 階 第 2 委員会室
4	審議等事項	(1) 学校給食費の滞納状況及び対応について (2) 学校給食用食材の放射性物質検査について (3) 富津市学校給食施設整備の指針について (4) その他
5	出席者名	(委員) 平野政博、田中計、柴本一郎、石井吉明、 長嶋孝之、遠藤広貴、柳川通雄、金瀬陽子、平野 順子 (事務局) 渡辺教育長、古宮教育部長、今井教育 部参事、木村給食係長、鈴木主任主事、井上技師
6	公開又は非公開の別	公開 ・ 一部非公開 ・ 非公開
7	非公開の理由	富津市情報公開条例第 23 条第 号に該当 (理由)
8	傍聴人数	0 人（定員 5 人）
9	所管課	教育部 学校教育課 給食係 電話 0 4 3 9 (8 0) 1 3 4 3
10	会議録（発言の内容）	別紙のとおり

平成 26 年度第 1 回富津市学校給食運営委員会議 会議録

発 言 者	発 言 内 容
木村係長	<ul style="list-style-type: none"> ・開会を宣言する。 ・委員 10 名中 1 名が欠席だが、富津市学校給食調理場管理運営規則第 11 条第 2 項の規定により会議が成立すること及び本会議の内容について、富津市情報公開条例第 23 条の規定により公開となることを説明する。
渡辺教育長	<ul style="list-style-type: none"> ・教育長挨拶
木村係長	<ul style="list-style-type: none"> ・全委員に自己紹介を依頼する。
全委員	<ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介
木村係長	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局は、資料巻末の席次表により確認を依頼する。
	<ul style="list-style-type: none"> ・会議次第の 4、委員長・副委員長の選出について依頼する。
今井参事	<ul style="list-style-type: none"> ・選出について説明する。
	<ol style="list-style-type: none"> 1. 前委員の任期が平成 26 年 6 月 30 日をもって、全員任期満了となった。 2. 富津市学校給食調理場管理運営規則第 10 条第 1 項の規定により、委員の互選により選出する。 3. 突然の選出は困難と思われるので、事務局から案を提案して良いか確認する。
全委員	<ul style="list-style-type: none"> ・全員より異議なしの声あり。
今井参事	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局案を説明する。
	<ol style="list-style-type: none"> 1. 慣例として、委員長は学識経験者、副委員長は校長代表となっている。 2. 学識経験者代表の平野順子委員と校長代表の柴本一郎委員が前任の委員長・副委員長であった。 3. 富津市学校給食施設整備の指針に基づき、調理場の統合を進めているところであり、平野順子、柴本一郎両委員はその内容を熟知している。 <ul style="list-style-type: none"> ・以上から、今回も委員長を学識経験者の平野順子委員に副委員長を校長代表の柴本一郎委員にお願いしたい。

<p>全委員 今井参事 全委員 平野委員長 柴本副委員長 木村係長 平野委員長 木村係長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 異議なしの声多数あり。 ・ 事務局案のとおりとして良いか、確認する。 ・ 拍手により同意を表明する。 ・ 就任挨拶 ・ 就任挨拶 ・ 富津市学校給食調理場管理運営規則第 11 条第 1 項の規定により委員長が議長となるため、会議の進行を依頼する。 ・ 会議録署名人に金瀬陽子委員を指名する。 ・ 会議次第の 5 (1) 学校給食費の滞納状況及び対応について事務局の説明を求める。また、質問は(1)(2)を連続して報告させるので、終了後一括して受けることを説明する。 ・ 学校給食費の滞納状況について報告する。 <ul style="list-style-type: none"> 1. 2 ページ、平成 25 年度現年度分を説明する。 <ul style="list-style-type: none"> ① 調定額 188,334,507 円 ② 収入額 187,714,771 円 ③ 未納額 619,736 円 ④ 収納率 99.67% 2. 3 ページ、平成 24 年度現年度分を説明する。 <ul style="list-style-type: none"> ① 調定額 195,577,291 円 ② 収入額 194,749,585 円 ③ 未納額 827,706 円 ④ 収納率 99.58% ⑤ 25 年度対 24 年度増減 0.09% 収納率の増 3. 4 ページ、平成 25 年度過年度分を説明する。 <ul style="list-style-type: none"> ① 調定額 1,973,132 円 ② 収入額 605,445 円 ③ 不納欠損額 459,594 円 ③ 未納額 908,093 円 ④ 収納率 30.68% 4. 5 ページ、平成 26 年度への過年度分滞納繰越額内訳を説明する。
--	---

<p>平野委員長</p>	<p>(1) 滞納額合計 1,527,829 円</p> <p>5. 6 ページ、未納となっている給食費の徴収内容別一覧を説明する。</p> <p>(1) 児童手当からの特別徴収 現年度分 116,430 円 過年度分 426,745 円</p> <p>(2) 臨戸徴収（過年度分）100,300 円</p> <p>(3) 学校徴収（過年度分）78,400 円</p> <p>・ 会議次第の 5 (2) 学校給食用食材の放射性物質検査について事務局の説明を求める。</p>
<p>木村係長</p>	<p>・ 7 ページ、学校給食用食材放射性物質検査事業について説明する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 千葉県教育委員会が実施する学校給食用食材放射性物質検査事業により検査を実施している。 2. 検査場所は、木更津市の南房総教育事務所 3. 富津市は、1 月当たり 6 検体の検査を実施している。 4. 平成 24 年 5 月 8 日の試験検査から、平成 26 年 6 月 18 日までに延べ 152 検体の検査を実施した。 5. 152 検体の全てで放射性セシウムは不検出であった。 6. 今後も継続して実施する予定 7. 検査実施毎に、市のホームページへ掲載している。
<p>平野委員長</p> <p>柳川委員</p>	<p>・ 報告(1)及び(2)についての質問を求める。</p> <p>・ 未納給食費の臨戸徴収とは、過年度分を市の職員が徴収しているのかとの質問がある。</p>
<p>木村係長</p>	<p>・ 臨戸徴収は市の職員が行っているが、学校においても未納者に対して納入催促をしてもらっており、その効果で未納者からの訪問依頼もあることを回答する。</p>
<p>石井委員</p>	<p>・ 未納となっている給食費は、千円・二千円の内入れでも納入できるかとの質問がある。</p>
<p>木村係長</p>	<p>・ 現在内入れにより納入しているケースもあり、可能であることを回答する。</p>

長嶋委員	・未納者のうち、補助制度を申請すれば適用になる者とそれ以外の者とを分けて集計を行っているかとの質問がある。
木村係長	・高額未納者については所得等を確認したり、学校に協力を得たりして状況把握に努めていることを回答する。
柳川委員	・放射性物質検査の検査対象調理場が大貫共同調理場のみとなっているが、理由について質問がある。
木村係長	・検査体制の都合上、一番効率が良いこと及び、調理場が違っていても同時期に出回る野菜類の産地は同じであるため同一調理場にて検査食材を用意していることを回答する。
柳川委員	・共同仕入れを行っているかと認識して良いかとの質問がある。
木村係長	・各調理場で献立を作成しているため共同仕入れは行っていない。食材の購入契約は調理場毎となっていることを回答する。
平野政博委員	・給食費が未納となっている学校が毎年同じだが、管理体制に問題があるからなのかとの質問がある。
木村係長	・統計的に児童・生徒数の多い学校は必然的に発生率が高くなること及び、問題を抱えた家庭も多くなってしまうため、毎年同じ学校に未納者が発生してしまう。学校の協力を得て、現状を維持している状況であることを回答する。
平野政博委員	・放射性物質検査の検体について、国等の指示があって生鮮食品と加工品を検査しているのか。また、どのように選定しているかとの質問がある。
木村係長	・検査開始当初は原材料のみが対象であったが、平成 25 年度から加工品も対象となり、併せて検査できるようになった。検体は、毎回大貫共同調理場の栄養士が選定していることを回答する。
平野委員長	・会議次第の 5 (3) 富津市学校給食施設整備の指針について事務局の説明を求める。
木村係長	・富津市学校給食施設整備の指針について説明する。 ・富津市第三次基本計画に調理場の統廃合について検討することから、学校給食運営委員会において平成 24 年 7 月から平成 25 年 12 月までに計 5 回の会議を開催し、慎重審

議を重ねた結果、富津市学校給食調理場整備の指針（案）として纏め、教育委員会へ提言として提出した。これを受けて、教育委員会では平成 26 年 1 月定例教育委員会議において、原案のとおり承認され策定されたことを説明する。

・ 1 ページ、「はじめに」について説明をする。

1. 富津市の学校給食は、2つの共同調理場と3つの単独調理場により、市内17の小中学校へ給食を提供している。

2. 供用開始後30年以上経過している調理場が4施設もあり、施設の老朽化、児童生徒数の減少、国の定める学校給食施設衛生管理基準に適合していない等々の課題を抱えている。

3. 課題の解決に向け学校給食施設の整備を行うこととし、富津市学校給食運営委員会で検討を進めてきた。

4. 検討の経過及び結果を踏まえて、今後の学校給食施設の基本的な整備方針について纏めたものである。

・ 2 ページ、「富津市の学校給食調理場の現状と課題」について説明をする。

1. 学校給食調理場の現状を説明する。

(1) 小学校12校及び中学校5校に対し、2共同調理場と3単独校調理場で完全給食を実施している。

(2) 施設設備の老朽化、食器類等の経年劣化、児童生徒数の減少など、多くの課題を抱えており、その対応が求められている。

(3) 建築年次が最も過去である富津小学校調理場が建築後38年、最も近い大貫共同調理場でも29年が経過している。

(4) 富津小学校調理場と飯野小学校調理場で調理食数が最大調理数の20%台となっており、稼働率が低い状態となっている。

2. 学校給食調理場の課題を説明する。

(1) 単独調理場では、児童数の減少が給食食材の仕入単価

に大きく影響しており、今後も児童数の減少が予想されるため、品質を下げるか、品数や量を減らす等の「質」の低下が懸念される。

(2) 施設設備の老朽化が進行し、維持補修及び機械設備の買い替えを行って安定した給食の提供に努力しているが、十分な対応ができていない現状である。主要設備や機器の破損及び故障により、突然に給食の実施が困難となるリスクが年々高くなっている。

(3) 国の定める衛生管理基準に適合した施設への改修は様々な課題のため、遅れてしまっている。今後、食中毒等のリスクも高くなり、安全・安心な給食の実施に支障が出てくることが予想される。

(4) 稼働率が低くなってしまっている調理場でも、運営に必要な最低限の経費は必要であるため、給食1食当たりの調理に係る経費が単独調理場と共同調理場とで不均衡となっている。今後も更に格差が拡大することが予想される。

(5) 課題解消に向け、調理場の統合も視野に入れて、学校給食運営委員会で整備方針について検討を行った。

・ 4 ページ、「富津市学校給食運営委員会での検討」について説明をする。

1. 期別での施設整備を説明する。

(1) 第1期計画として、現在の5調理場を2共同調理場と1単独調理場に統合する。

(2) 第2期計画として、3調理場に統合された後の状況を精査し、より望ましい学校給食調理場のあり方を実現するための検討を行う。

① 新規共同調理場への全調理場の統合

② 既存2共同調理場への統合

2. 食育に十分配慮した給食の実施を説明する。

(1) 地産地消をはじめ、学校給食を生きた教材として活用

できるような給食の提供と調理場の見学や調理実習、研修などを通じて食育に関する諸活動に取り組むことのできる施設の整備を図り、各学校と連携して食育の推進を行う。

(2) 保護者や市民を巻き込んだ食育の推進も視野に入れて今後の施設整備を検討する。

3. 食物アレルギーに配慮した給食の実施を説明する。

(1) 現実的に全ての食物アレルギーへの対応は非常に困難であるが、可能な限り食物アレルギーに配慮できるような施設整備のあり方について検討する。

- ① 対応レベル及び方法等について
- ② 専任の栄養士、調理員の配置について
- ③ 学校との連携体制の確立について
- ④ 専用の調理室、調理機器等の整備について
- ⑤ その他、アレルギー食対応に必要と想定されることについて

4. 職員の配置についてを説明する

(1) 安全で安心な給食を安定的に提供するため、適正な職員配置を行う。

- ① 場長及び事務職員の配置
- ② 栄養士の配置
- ③ 調理員の配置

・ 6 ページ、施設整備の基本計画について説明をする。

1. 第1期計画を説明する。

(1) 富津小学校調理場を大貫共同調理場へ統合

- ① 供用開始後 38 年が経過し、施設設備の老朽化が著しく、安定した給食の提供及び学校給食施設衛生管理基準の遵守のため、大貫共同調理場へ統合する。
- ② 統合目標年月：平成 27 年 4 月
- ③ 必須施設整備：給食搬出入口設置工事

(2) 飯野小学校調理場を大貫共同調理場へ統合

① 供用開始後 33 年が経過し、施設設備の老朽化も目立っている。児童数は今後も減少傾向にあり、適正なコストバランスの維持に支障があるため、大貫共同調理場へ統合する。

② 統合目標年月：平成 28 年 4 月

③ 必須施設整備：給食搬出入口設置工事

(3) 大貫共同調理場の改修

① 富津小及び飯野小学校調理場の統合に伴う条件整備を行う。

② 必須施設整備：コンテナプール増設工事設計業務及び工事

③ 必須備品整備：配送用コンテナ、二重食缶等給食配送に係る備品類

④ 必須委託業務：調理業務委託及び配送業務委託

2. 第 2 期計画を説明する。

第 1 期計画完了後の状況を精査し、本市においてより望ましい学校給食調理場のあり方を実現するため、市民ニーズ等を把握するための様々な手法を取り入れながら、再度検討を行うものとする。

(1) 全ての調理場を統合するため、新規に共同調理場を建設

① 期間：基本計画から供用開始まで、最短でも 5 年が必要であると見込まれる。

② 費用：整備内容により大きく異なるが、近隣市の事例を参考に算出すると、総額 11 億円程度が必要であると見込まれる。

③ 内容：
・最大調理数 3,500 食
・完全ドライシステムの採用
・危険分析重要管理点方式（HACCP）の考え方に準拠した施設
・アレルギー食への可能な限りの対応

- ・食育の推進に係る施設整備（見学、調理、会議等）

(2) 既存2共同調理場への統合

① 期間：施設改修に係る実施設計から調理再開までは、各々の共同調理場を交互に改修しなければ給食の提供を一時中断しなければならなくなるため、最短でも3年が必要であると見込まれる。

② 費用：国の学校給食施設衛生管理基準に準拠した施設の改修及び設備の更新が必要となり、大規模な改修となるため、高額な費用が見込まれる。

③ 内容：・可能な限り、国の定める学校給食施設衛生管理基準に適合した施設設備への改修

- ・アレルギー食への可能な限りの対応
- ・食育の推進に係る施設整備（見学設備の設置）

・進行状況と今後の予定について説明する。

1. 5月27日付けで富津小学校及び飯野小学校保護者宛てに調理場の統合に係る連絡文書を配布した。

2. 9月定例会市議会に富津小学校調理場の廃止に係る条例案を提出する。可決成立後、給食搬入・搬出口設置工事及び備品類の購入を実施する。

平野委員長
田中委員
木村係長

・報告(3)についての質問を求める。

・ノロウイルス対策について質問がある。

・平成26年2月に学校給食に携わる全職員を対象にノロウイルス検査を実施した。検査結果は全員陰性であった。日常の消毒作業は、富津市学校給食調理等業務作業基準に基づいた対応を徹底していることを回答する。

平野政博委員
木村係長

・食器類等の消毒方法について質問がある。

・食器類は、自動食器洗浄機で洗浄後、熱風消毒保管庫に入れて90°設定で1時間30分の熱風消毒を行い、その他配送用ワゴンやコンテナ等は、次亜塩素を希釈して拭き上げ消毒を行っ

<p>平野政博委員</p> <p>木村係長</p>	<p>ていることを回答する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年度も実施していると思うが、今年度も調理場の見学や給食の試食等、給食現場の実状を視察したいとの意見がある。
<p>平野委員長</p> <p>今井参事</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度末で富津小学校調理場を閉鎖するので、同調理場の視察と給食の試食を行う予定であることを回答する。
<p>平野委員長</p> <p>今井参事</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・会議次第の5(4)その他について事務局の説明を求める。 ・事務局からはない旨回答する。
<p>平野委員長</p> <p>今井参事</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・この場で協議したい事項があれば発言するよう求める。 ・特に協議事項もなく、議事を終了する。 ・今後の会議予定について、事務局の説明を求める。
<p>今井参事</p> <p>木村係長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・11月上旬頃に第2回、2月上旬頃に第3回を予定していることを説明する。 ・平成26年度第1回富津市学校給食運営委員会の閉会を宣言する。